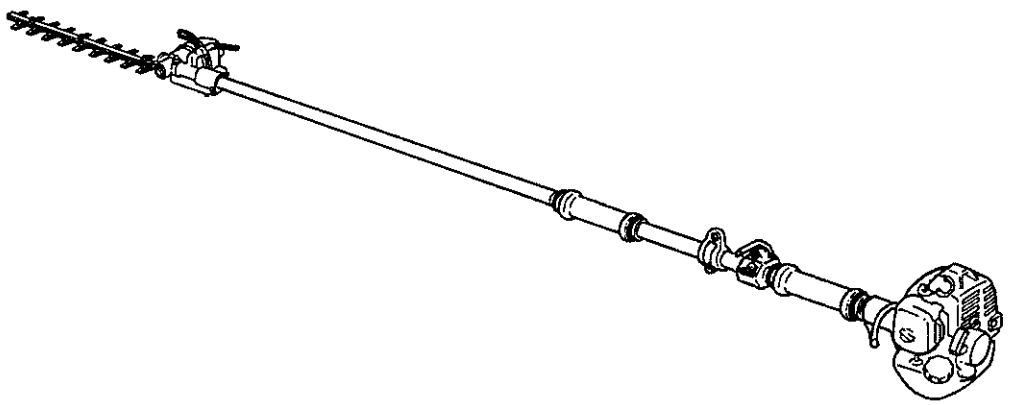
T3342-93111 (E1/A904)

ZENOAH

ゼノア高枝剪定機 取扱説明書

HHT2210



⚠ 注意	● 製品をお使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。 ● 取扱説明書は大切に保管してください。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って**誤操作のないよう**ご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためにこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	：注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重要	：注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補足	：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠ 正しくお使いいただくために……1

警告ラベルとその取扱い……5

サービスと保証について……6

製品主要諸元……7

各部の名称……8

標準付属品……8

組　立

作業機の取り付け……9

燃料……10

給油……11

エンジンのかけかた……12

エンジンのとめかた……14

操作方法

刈刃角度の調整……15

点検整備

作業前後点検……16

定期点検……16

刈刃……17

ギヤケース……18

エアクリーナ……18

燃料フィルタ……18

スパークプラグ……19

冷却用空気通路……19

100時間使用毎の手入れ……20

エンジンの調整……20

長期保管時の手入れ……21

故障のときは……22

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

●ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

●本製品は樹木の枝葉の剪定を用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的には使用しないでください。

●本製品は鋭利な刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合

② 霧や夜間など、視界が悪く作業現場周辺の安全確認が困難な場合

③ 天候悪化時（降雨、強風、雷など）

●初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に安全な場所で試運転し、製品の取扱に習熟してください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

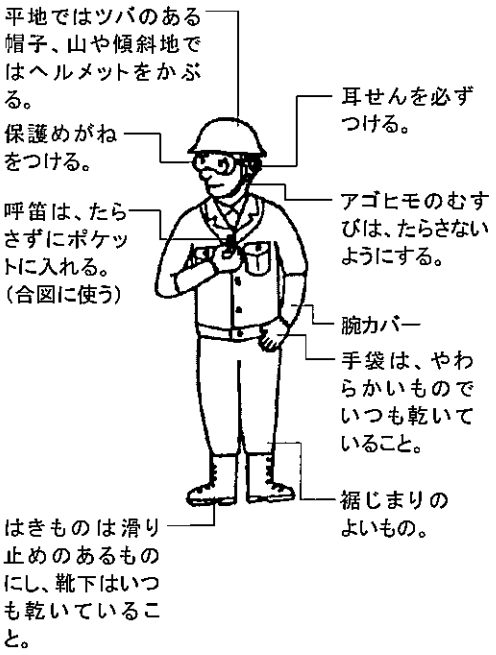
●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



●本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

① 長袖長ズボンで厚手の作業服
②作業帽子(傾斜地作業時はヘルメット)
③保護めがねまたは顔面防護ネット
④ 厚手の丈夫な作業用手袋(革製など)
⑤ 滑りにくい丈夫な保護長靴(先芯入り)
または滑りにくい安全な靴(先芯入り)
⑥ 耳せん(特に長時間作業時)

また、次の用品を携行してください。

① 製品付属工具および目立てヤスリ
② 適切な容器に入れた燃料
③ 刈刃汚れ落とし用ワイヤブラシ

●裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

■ 燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

正しくお使いいただくために

■ 使用前の注意事項

●作業を始める前に現場の状況（地形、刈り払う草の性質、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。

●作業者から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。また、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。

●作業を開始する前に機体各部を点検し、ねじ類のゆるみ、燃料洩れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃及び刈刃取付部は入念に点検してください。

●刈刃の部分の装置が損傷している場合、あるいは刈刃が著しく摩耗している場合は機械を使用しないでください。

●機体の保持部（ハンドルグリップ）や保護装置がすべて正しく取り付けられていることを確認してください。

■ エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。

●本製品は遠心クラッチを装備しているため、スロットルレバーを「始動」位置にセットしてエンジンをかけると始動と同時に刈刃が動き始めます。始動時は機体を地上において、刈刃やスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないよう機体をしっかり押えてください。

●スロットルレバーを「高速」位置にしてエンジンを始動しないでください。

●エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻した状態で、刈刃が動かないことを確かめてください。
刈刃が動き続ける場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行なってください。（本文20ページ参照）

正しくお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

●作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握り、両足は均等に体重がかかるように肩幅より少し広めに開いて、常に安定した姿勢をとるようにしてください。

●エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。

●作業中は、切り落とされた枝にあたる危険がありますので、作業範囲内に他の人を近づけないでください。

●雨中や雨上がり後は、足元が滑りやすいので、十分注意してください。

●刈刃に枝などがかみ込んだ場合は、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。.

●落下する枝から身を守るため、必ず所定の防護具を着用し、作業中は枝の動きや落下方向に十分注意してください。

●作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受ける恐れがありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。

●高温によるヤケドの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。

●作業を中断して移動するときは、エンジンを停止し、刈刃にカバーを取り付け、刈刃を前向きにして持ち運んでください。

●運搬中の衝撃で燃料が漏れ出す恐れがありますので、燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。

■ 整備上の注意事項

●製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備や部品交換が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損したり、正常な操作が出来なくなる危険があります。

●点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
高温のため火傷の危険があります。

●刈刃の着脱や研ぎ直しをするときは、けが防止のため丈夫な手袋を着用して、慎重に作業してください。

●刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、必ず当社純正品または当社指定銘柄品を使用してください。

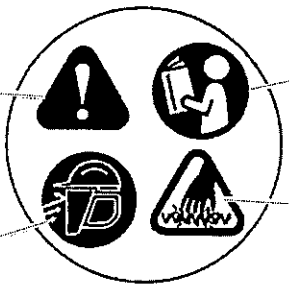
正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

① 品番Z6598－13250

この機械は取扱いを誤ると死亡または重傷を負う危険があります。説明書をよく読み、機械のあらゆる操作と正しい使用方法に慣れてください。

作業時はフェイスプロテクタとヘルメットを着用してください。

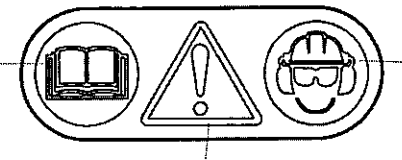


取扱説明書をよくお読みください。

刈刃に注意(手を触れるな)

② 品番 848－8X1－0030

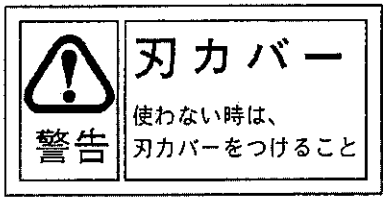
取扱説明書をよくお読みください。



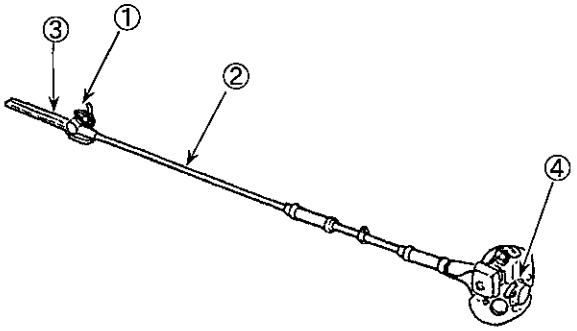
使用時は目と耳の保護具を着用してください。

この機械は取扱いを誤ると死亡または重傷を負う危険があります。

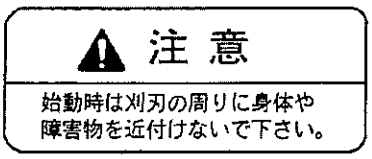
③ 品番 Z6598-13890



【貼り付け位置】



④ 品番 Z5500-91190



【ラベルのメンテナンス】

(1) 警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

(2) 警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

(3) 新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

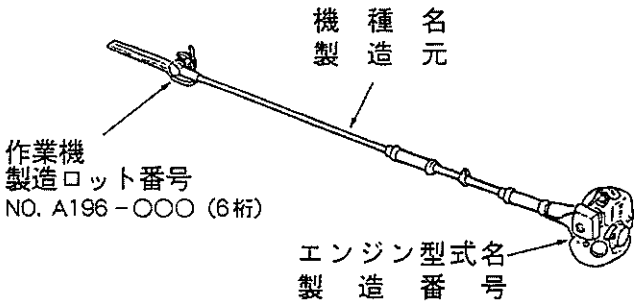
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後８年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠警告	機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。

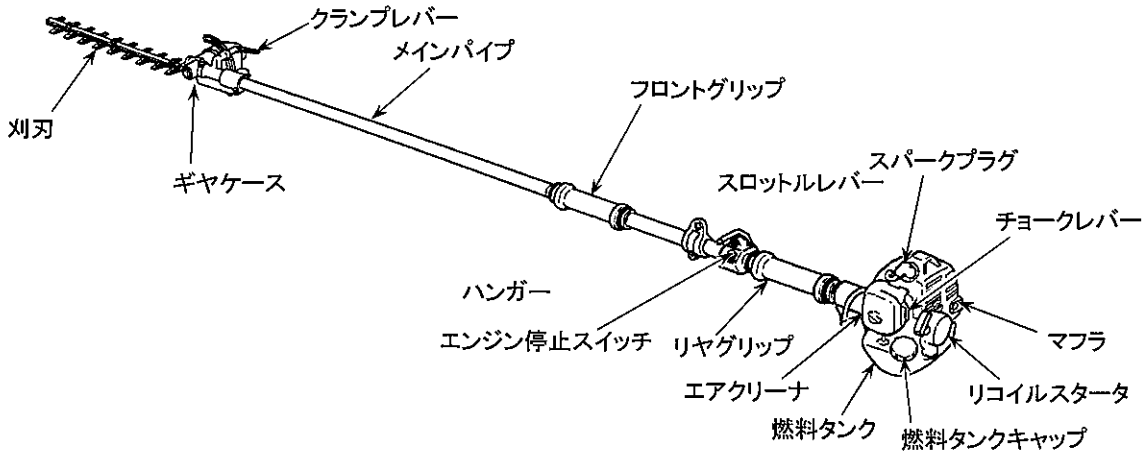
製品主要諸元

名称・型式			ゼノア高枝剪定機 HHT2210
ハンドル型式			2 グリップ
本体乾燥質量(※1)		kg	4.5
外形寸法	全長	mm	2150
	全幅	mm	205
	全高	mm	205
刈刃	方式		両刃複動式
	刃数		上下各 21 枚
	刃ピッチ	mm	30
	有効刈幅	mm	300
	角度調整範囲		90 度(上下方向に各 45 度)
動力伝達方式			自動遠心クラッチ、スパイラルベベルギヤ、カムクランク
減速比			4:1
エンジン	形式		単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排気量	cm^3	21.7
	燃料タンク容量	L	0.5
	使用燃料		潤滑油混合ガソリン 〔混合比40:1(ゼノア純正オイル使用時)または25:1(市販オイル使用時)〕
	使用潤滑油		2サイクルエンジン専用オイル
	キャブレタ		ダイヤフラム、ロータリーバルブ式
	点火方式		IC制御 フライホイルマグネト
	スパークプラグ		チャンピオン RCJ-6Y
	始動方式		リコイルスタータ式
	停止方式		点火回路一次側短絡式(押しボタン)
付属品			肩掛けバンド、刈刃かバー、保護メガネ、工具セット

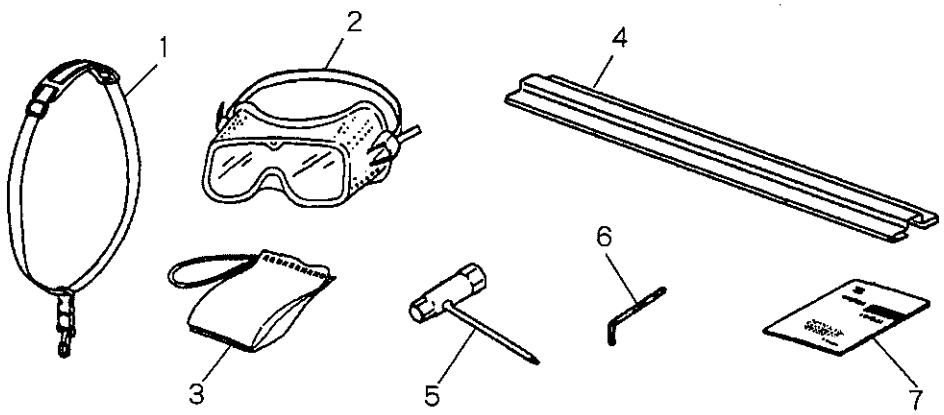
(※1) 刈刃カバー、肩掛けバンド、燃料、グリースを除く

■改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

各 部 の 名 称



標 準 付 属 品



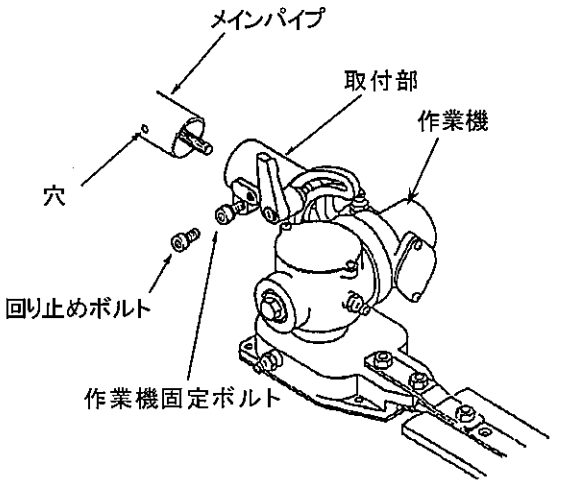
図番号	部品番号	品名	数量	図番号	部品番号	品名	数量
1	848-J82-3610	肩掛けバンド	1個	5	3073-91111	ソケット 13×19	1個
2	6242-92110	保護メガネ	1個	6	09007-00425	六角レンチ 対辺4	1個
3	3520-91110	収納バッグ	1個	7	T3342-93111	取扱説明書※	1冊
4	6780-13910	刈刃カバー	1個	※保証書が挟み込まれています。			

組　　立

■ 作業機の取り付け

⚠ 警 告	作業機取り付け時は、必ず刈刃カバーを装着してください。刈刃カバーを付けずに取り付け作業を行なうと、刈刃で負傷する恐れがあります。

図1



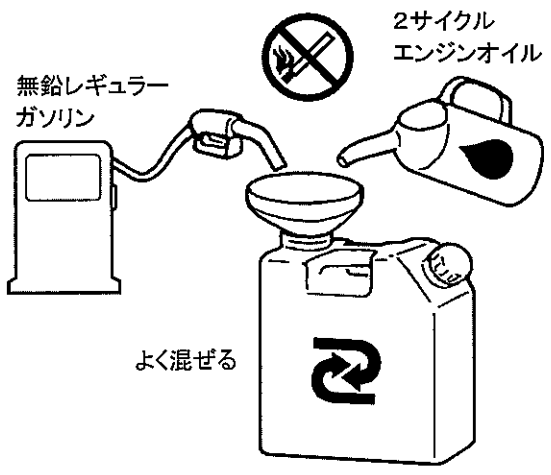
1. メインパイプの端部のキャップを取りはずしてください。
2. 作業機の取付部に仮締めされている回り止めボルト(六角穴付M5×10)を付属の六角レンチ(対辺 4 ㎜)で取り外してください。
3. 作業機の取り付け部を本体のメインパイプに差し込んでください。
4. 回り止めのネジ穴とメインパイプの穴を合わせてから、回り止めボルトを付属の六角レンチ(対辺 4 ㎜)で確実に締めつけてください。
5. 作業機固定ボルト(六角穴付M5×30)を付属の六角レンチ(対辺 4 ㎜)で確実に締めつけてください。

燃　　料

⚠ 危 険	● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行ってください。 ● 刈払機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要	● オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。刈払機や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

図2



燃料は、最寄りのガソリンスタンドで「空冷２サイクルエンジン用混合ガソリン」をお求めになるか、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

〔混合比〕

□ゼノア純正2サイクルオイル（FC級）使用時

……40：1

（ガソリン４Ｌに対しオイル100mL）

□市販2サイクルオイル（FB級）使用時

……25：1

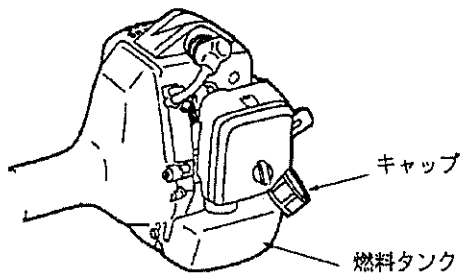
（ガソリン４Ｌに対しオイル160mL）

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料キャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。 燃料を入れ過ぎると、運転時にタンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

図3



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、8分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

— ゼノア純正 ビッグバンガソリン —

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された2サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
◎混合の手間不要
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。
詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた

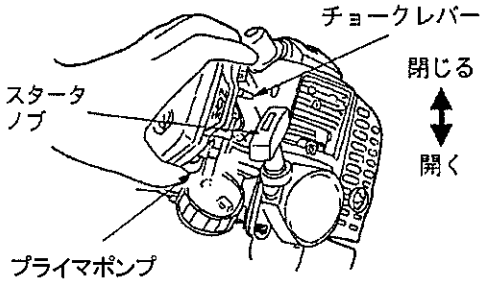
⚠ 危 険	● 燃料の補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。

⚠ 警 告	● エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。スロットルレバーがアイドリング位置以外になっていると、刈刃が動き始めてしまうので非常に危険です。

⚠ 注 意	● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみやスロットルレバーの作動不良、刈刃取付部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。刈刃が地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、機体を片手で持上げたまま始動しないでください。 ● スロットルレバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。 始動と同時に刈刃が動き始めますので非常に危険です。始動時は機体を安定した地面におき、刈刃の周囲から障害物を遠ざけてください。 ● 始動時は刈刃が地面に触れないようにし、周囲の障害物を遠ざけてください。 ● エンジンがかかったら、速やかにスロットルレバーを完全に戻して、刈刃が動かないことを確認してください。 刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ● 運転時は常に両手でグリップ部を握り、刈刃から目を離さないでください。 ● 火傷の恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

重 要	チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。 このような場合は、チョークを開き、スロットルレバーを全開に近い位置にセットしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。 刈刃カバーは、エンジン始動前に取り外してください。刈刃カバーを取り付けたままエンジンをかけるとカバーが破損します。

図4



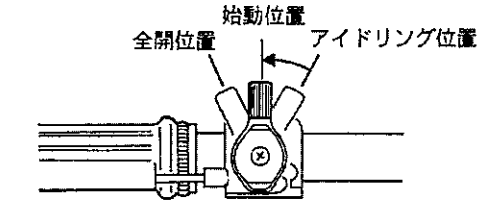
1. キャブレタ下部のプライマポンプでキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

補足 タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。

2. エアクリーナ右側のチョークレバーを上げてチョークを閉じてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。

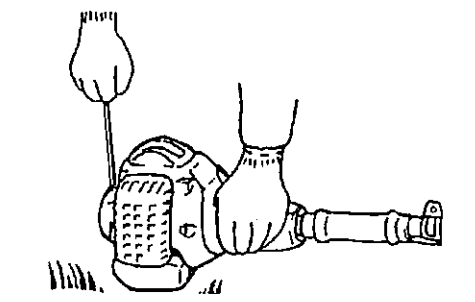
図5



3. スロットルレバーを アイドリング位置から約1/3～1/2開いた位置にセットしてください。

補足 エンジン停止直後に再始動する場合は、スロットルレバーをアイドリング位置にしたままロープを引いてください。

図6



4. 機体を安定した地面に置き、刈刃の周囲の安全を確かめてから、左手でクラッチハウジングを押えながら右手でスタータノブを引いてください。スタータノブは、始めは軽く引き出し、重くなったら力を込めて素早く引いてください。

重要 スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。

5. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。

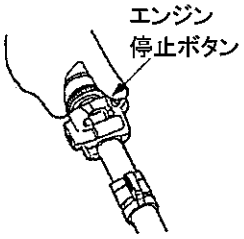
6. 2～3分間低速で暖機運転してください。

補足 燃料を吸い込みすぎてエンジンが始動しない場合は、チョークを開き、スロットルを全開にセットしてスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	● 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● エンジン停止直後は、マフラやスパークプラグに素手で触れないでください。 高温のため火傷の危険があります。

図7



1. スロットルレバーを完全に戻してください。
2. エンジン停止ボタン（赤）をエンジンが完全に停止するまで押し続けてください。

操　作　方　法

⚠ 危　険

刈刃を配電線に近づけないでください。誤って刈刃で配電線を切断すると、感電により死傷する危険があります。

⚠ 警　告

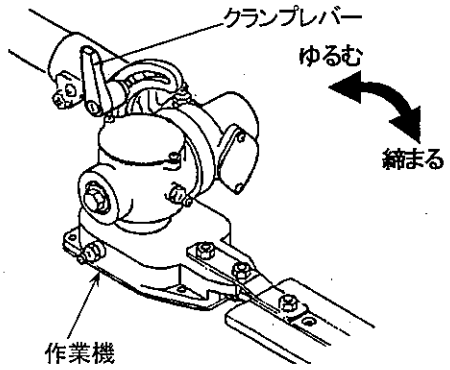
●本製品に用いられている刃物は非常に鋭利なため、取扱いを誤ると重傷事故を招く危険があります。使用時は次の事項を守って正しく操作してください。
○刈刃を人のいる方に向けないでください。
○エンジン運転中は刈刃を体に近づけないこと。
刈刃の角度を変えたり、刈刃にかみ込んだ枝や切りくずなどを取り除く場合は、事前にエンジンを停止してください。
○作業時および点検整備時は厚手の革製などの丈夫な手袋を着用してください。
○使用時以外は付属の刈刃カバーを刈刃に装着してください。
●落下する枝で顔や目を痛める危険があります。頭上の枝を刈り込むときは、付属の保護めがねまたはフェイスプロテクタ(顔面防護具)を着用してください。

重　要

本機には、刈刃や駆動ギヤの損傷を防ぐため、過大な外力がかかると自動的に刈刃が止まる保護機能が内蔵されています。作業中頻繁に刈刃が止まる場合は、つぎのようなことが考えられますので点検してください。
●枝が太すぎる:刈り込む枝の太さは5㎜位までとてください。
●刃の切れ味が悪い:刃先が磨耗していたり、上下の刃にスキ間があったりすると切断能力が低下します。刃こぼれしていると切断能力が低下し、枝をかみ込みやすくなります。

■ 刈刃角度の調整

図8



1. エンジンを停止してください。
2. 作業機上部のクランプレバーを手前(エンジン側)に回してゆるめてください。
3. 刈刃を作業に適した角度にしてからクランプレバーを刈刃側に回して締めてください。

点　検　整　備

⚠ 注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 事故や重大な人身事故を招く恐れがあります。製品の改造が原因で故障した場合は、弊社保証の対象外となります。 ● 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点検		項目	処置
1	作業機	・取付部トゆるみ ・刈刃のスキ間 ・刃先磨耗 ・割れ、曲がり	・締め付け ・調整(17頁参照) ・研ぎ直しまたは交換 ・交換
2	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
3	スロットルワイヤ	・遊び過大/過小 ・動きが悪い	・修正(20頁参照) ・修理または交換
4	エンジン取付部	・ゆるみ	・締め付け
5	燃料タンク	・取り付部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
6	マフラ	・取付部ゆるみ ・排気ガス出口の詰まり	・締め付け ・マイナスドライバーなどで詰まりを取り除く

■ 定期点検

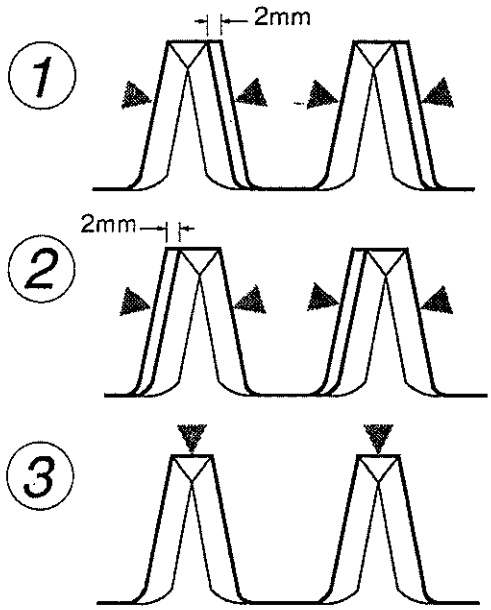
下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点検整備項目		実施間隔				備考
		20時間毎	25時間毎	50時間	100時間毎	
エンジン	シリンダフィンのゴミ除去		○			
	エアクリーナエレメントの清掃		○			
	スパークプラグの清掃と調整		○			スキマ 0.6～0.7mm
	燃料タンクの清掃			○		
	シリンダ取付ボルトの増締め				○	
	エンジン各部の増締め				○	
	マフラカーボン落し				○	
本体	ギヤケースグリース補給	○				
	クラッチドラム汚れ除去				○	

■ 刈刃

⚠ 警 告	刈刃で負傷するおそれがあります。 ●エンジンをかけたまま、刈刃の点検整備をしないでください。 ●点検整備時は革手袋を着用してください。

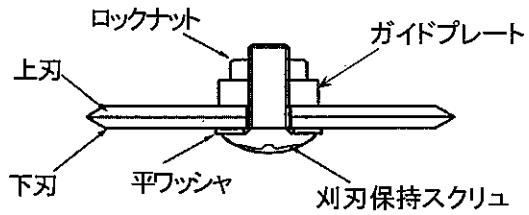
図9



〔研ぎ方〕

1. いったんエンジンをかけて低速で刈刃を動かし、上下の刃が約2mm ずれた位置でエンジンを停止してください。
2. 機体を確実に固定した後、上側(下側)の刃の出ている側を平ヤスリまたは小型のハンドグラインダーで一通り研いでください。次に下側(上側)の出ている側を同様に研いでください。
3. 再びエンジンをかけ上下の刃が①と逆方向に約2mm ずれた位置でエンジンを停止してください。
4. 上下それぞれ出ている側を②の要領で研いでください。
5. 最後に上下ぴったり重なる位置にして先端部を研いでください。

図10



〔スキ間の調整〕

●上下の刃にスキ間がある場合は、次の要領で締め代を再調整してください。

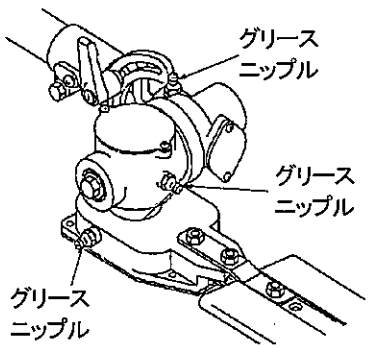
1. ロックナットをゆるめる
2. スクリュをいったん完全に締め込んでから、1/3～1/2 回転戻す。
3. スクリュを固定しながらロックナットを締め付ける。
4. 平ワッシャが指で回ることを確かめる。

重要 スクリュを締め過ぎると刈刃が動かなくなることがあります。逆に、スクリュがゆる過ぎると、切れ味が悪くなり、枝葉がかみ込まれやすくなります。

補足 刈刃が磨耗してスキ間調整が出来ない場合は、お買い上げ店に刃の研ぎ直しまたは部品交換を依頼してください。

■ ギヤケース

図11



２０時間使用毎を目安に、ギヤケースに潤滑用グリースを補充してください。

補充時はグリースガンを使い３か所のグリースニップルから注入してください。

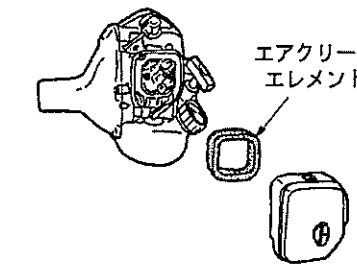
指定グリース

ゼノア純正グリース品番：3180-96250(100g 入り)またはリチウム系耐熱用グリース（＃2）

■ エアクリーナ

重 要	**エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。 また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。**

図12



２５時間使用毎を目安に、エアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。

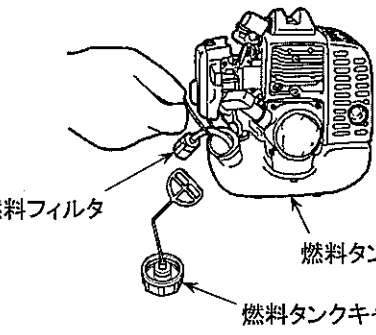
エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

重 要	**燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。**

図13



２５時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

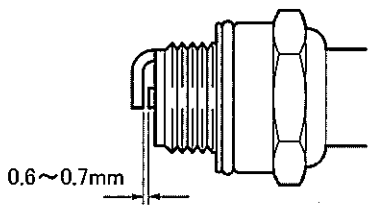
汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

■ スパークプラグ

⚠ 注 意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。

重 要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

図14



２５時間使用毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

● プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。
【締め付けトルク】
15．3～22．4N･m {150～220kgf-cm}

重要 初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

● プラグ交換時は指定品を使用してください。

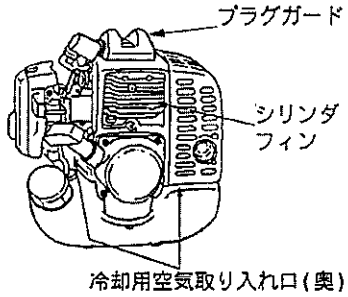
指定スパークプラグ	チャンピオン RCJ-6Y またはNGK BPM7A

● 電極間隙は0．6～0．7mmが適当です。

■ 冷却用空気通路

⚠ 注 意	●エンジン停止直後は素手でシリンダやマフラ、スパークプラグなどにさわらないでください。高温のためやけどを負う恐れがあります。 ●始業点検時にマフラ回りを点検し、付着している木くずや枯れ葉を取り除いてください。放置するとマフラ過熱の原因となります。火災予防の面からもマフラ回りは、常にきれいにしておくようにしてください。

図15

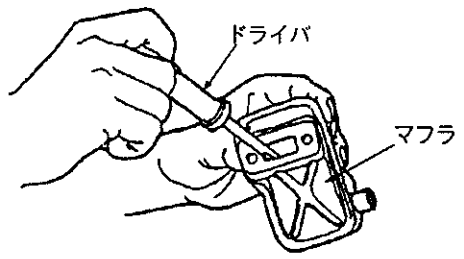


２５時間使用毎に冷却用空気取入口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。
シリンダ上部はプラグガードを取り外してから点検してください。

重要 冷却用の空気取り入れ口やシリンダフィンの間にゴミが詰まるとエンジンが過熱し、故障の原因となります。

■ 100時間使用毎の手入れ

図16

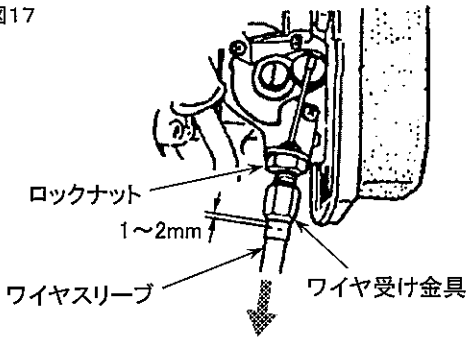


1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。
3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■ エンジンの調整

重 要	キャブレタは精密部品のため、分解整備には知識と技能が必要です。本書で説明している調整を行ってもエンジンの調子が思わしくない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

図17

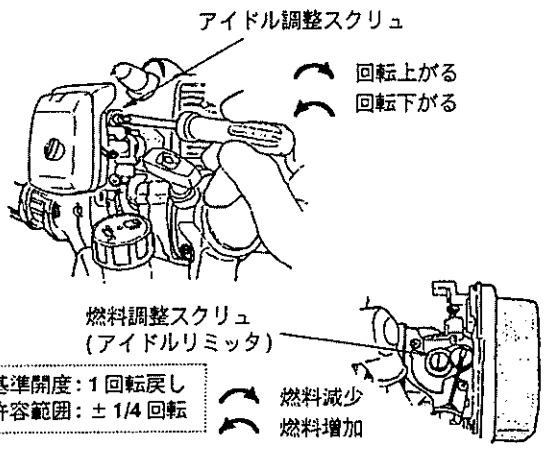


スロットルワイヤの遊びは、1～2mmが適当です。遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、ワイヤ受け金具の位置を再調整してください。
ロックナットをゆるめ、ワイヤ受け金具を右に回すと遊びが大きくなり、左に回すと遊びが小さくなります。調整後はロックナットを右に回してワイヤ受け金具を締め付けてください。

〔アイドル調整スクリュ〕

スロットルレバーを完全に戻したときに刈刃が動き続けたり、エンジンが止まってしまう場合はアイドル調整スクリュを再調整してください。

図18



スクリュを右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。

〔燃料調整スクリュ〕

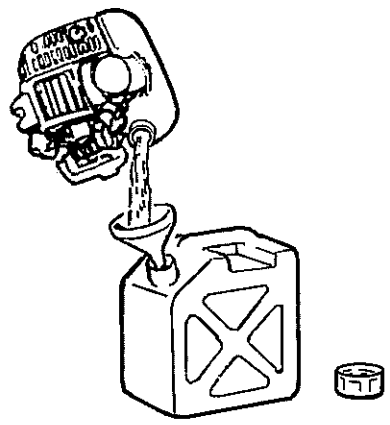
燃料調整スクリュは出荷時に調整されています。通常は調整の必要はありませんが、運転条件の変化等により燃料消費が増えたり加速が悪くなった場合は、いったん締め込んでから基準開度に戻してエンジンをかけ、許容範囲内でエンジンの調子が最も良くなる位置（アイドリング時にブレードが動かず、かつエンジンの回転が安定すること。また、加速時もたつきのない状態）にセットしてください。

■ 長期保管時の手入れ

⚠ 危 険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。

重 要	● 長期間(2ヵ月以上)使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障(始動不良や出力不足)の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

図19



1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. キャブレタのプライマポンプを燃料が出なくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、2サイクルオイルを1～2mLエンジン内に入れてください。
   スタータロープを2～3回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. ギヤケースにグリースを補給し、スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗布してください。
8. 刈刃に軽くオイルを塗布してカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に保管してください。

故障のときは

現　象	主　な　原　因	処　置
エンジンが始動しない	・燃料不良(異質、劣化)	・正規燃料と交換(10頁)
	・燃料吸い込み過ぎ	・チョークを開き、スロットルを全開にしてロープを繰り返し引く(13頁)
	・エンジン停止スイッチまたはリード線アース	・修理(★)
	・マフラ排気出口詰まり	・マフラ清掃(20頁)
	・スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・電極清掃またはプラグ交換(19頁☆)
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・スイッチコード接続不良またはリード線断線	・修理(★)
エンジンが加速しない	・燃料不良(異質、劣化)	・正規燃料と交換(10頁)
	・マフラ排気口詰まり	・マフラ清掃(20頁)
スロットルを戻すとエンストする	・アイドリング回転数が低すぎる	・再調整(20頁)
エンジンの回転が変動する	・燃料フィルタ目詰まり	・燃料フィルタ清掃または交換(18頁☆)
枝葉をかみ込みやすい 切り口がきたない	・刈刃切れ味低下	・研ぎ直し(17頁)
	・上下の刈刃スキ間過大	・スキ間の調整(17頁)
燃費悪化	・エアクリーナ目詰まり	・エアクリーナ清掃(18頁)
	・刈刃切れ味低下	・研ぎ直し(17頁)

・上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。

・☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

・★印のついている処置につきましては、お買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 危　険	● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。 ● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。 ● 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

ZENOAH

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル **0570-084987**

月～金/9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台 1-9

（平成 21 年 4 月現在）

T3342-93111(E1/A904) PRINTED IN JAPAN